

事業所名

児童くらぶ ぼけっと

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024

年

9

月

28

日

|           |  |   |                        |
|-----------|--|---|------------------------|
| 法人（事業所）理念 | 障がいの有無にかかわらず、すべての子供に障がいがあっても、その家族がその人らしく生きる為に、休養や精神的ケア・就労の自由が約束される社会を目指します。また、地域全体で子どもを支援できるように、開かれた事業所を目指します。 |   |                        |
| 支援方針      | 安心・安全な居場所作り・楽しい療育の場・家族支援・どのような子どもでも利用できる・地域との連携を柱に、利用される子どもの成長を促すための支援に取り組んでいる。                                |   |                        |
| 営業時間      | (月～土) 8 時 30 分から 17 時 30 分まで   | 送迎実施の有無   | あり なし                  |
| 支 援 内 容   |  |   |                        |
| 本人支援      | 健康・生活  | 健康状態の把握、睡眠・食事・排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられる様に支援を行う。<br>身の回りの清潔・食事・衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援を行う。                               |                        |
|           | 運動・感覚  | 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動・動作の改善及び習得・筋力の維持・強化を図る。<br>感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。   |                        |
|           | 認知・行動  | 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理でき利用に支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。またこだわりや偏食等に対する支援を行う。間隔や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。 |                        |
|           | 言語<br>コミュニケーション  | 身体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。<br>各種の文字・記号・絵カード等のコミュニケーション手段を適切に選択・活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできる様に支援する。         |                        |
|           | 人間関係<br>社会性  | 人との関係性を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成する為に支援を行う。<br>集団に参加するための手段やルールを理解し、遊びや集団生活に参加できるように支援する。                  |                        |
| 家族支援      | 家族の子育てに関する困りごとに対する相談支援等  | 移行支援  | 保育園と連携し、就学の為の引継ぎノート作成等 |
| 地域支援・地域連携 | 保育園や幼稚園、担当保健師と情報共有や調整、支援方法や環境調整等に関する相談支援等  | 職員の質の向上   | 社内・社外研修等               |
| 主な行事等     | 三社参り、登山、川遊び、親子レクリエーション、芋煮会、デイキャンプ、夕涼み会、伊田神幸祭、流しそうめん等   |   |                        |